

2023 年度（第 77 回）研究発表大会プログラム

日 時：2022 年 6 月 3 日（土）10：00～17：00（受付は 9：00 開始）

会 場：立正大学熊谷キャンパス アカデミックキューブ 2 階

A205 教室（発表会場）・A204 教室（会員控室）・A201 教室（書籍販売等）

注意点：

- ・口頭発表と優秀卒業研究発表は、交代の時間を含めて発表 15 分と質疑応答 4 分、全体の持ち時間は 20 分です。*は発表者。
- ・ポスター、地理写真の掲示時間は 10：00～16：00、ポスターの発表コアタイムは 12：50～13：20 です。掲示場所は会場の案内にて確認してください。

プログラム：

《開会挨拶》

《口頭発表 I》 10：00～11：00

- A1 10：00～10：20 河野 忠*（立正大）・松田真歩（立正大・学卒）：硯洗いの風習とハス葉面の白露との関係。
- A2 10：20～10：40 川添 航*（立正大）・劉 逸飛（筑波大・院）：昭和 30 年～40 年代における小豆島遍路の空間構造と巡礼経験—講組織による団参を事例として—。
- A3 10：40～11：00 小川滋之（ふじのくに地球環境史ミュージアム）：西上州，群馬県下仁田町周辺の在来作物の探索。

《2021 年度優秀卒業研究発表（立正地理学振興会）》 11：00～11：40

- ◆ 11：00～11：20 高橋侑大（貝沼ゼミ出身・株式会社黒田組）：横浜市南区横浜橋通商店街におけるエスニック・ビジネスの実態。
- ◆ 11：20～11：40 齋藤 彦（小松ゼミ出身・国際航業株式会社）：新潟東港周辺における砂丘列区分の再検討。

《第 3 セッション（立正地理学振興会、立正地理学会による表彰式）》 11：40～11：50

- 11：20～11：40 優秀卒業研究賞 授与
田中啓爾記念地理学奨励賞 授与

《昼休み》 11：50～12：50

※ A201 教室において、書籍の展示・販売を予定しております。

出展企業・団体：古今書院、東京カートグラフィック

《ポスター発表コアタイム》 12：50～13：20

- P1 鈴木重雄（駒澤大）：名取川堤外地の土耕作放棄地における植物種組成。
- P2 戸田真夏（青山学院大）：斜め写真による自然地理—海外編—。
- P3 上岡瑞季*・笹本和希・小馬谷一心・箱田悠斗・齊藤みらい・原田汐音・市川隼暉（立正大・学）・原美登里（立正大）：熊谷市平戸地区における学生主体の地域協働事業。
- P4 小馬谷一心*・市川隼暉・上岡瑞季・箱田悠斗（立正大・学）：竹田市・由布市における河川環境。
- P5 齊藤みらい*・原田汐音・笹本和希（立正大・学）：竹田市・由布市における湧水環境。

《会長講演》 13:20~14:20

小川 護（沖縄国際大）：本土復帰後の沖縄県における地域農業の変容。

《休憩》 14:20~14:30

《口頭発表Ⅱ》 14:30~15:30

A4 14:30~14:50 大山正雄（日本温泉協会）：台湾・北投温泉の共同湯『瀧乃湯』。

A5 14:50~15:10 初澤敏生（福島大学）：再論・東日本大震災後の被災3県の水産加工業の変化。

A6 15:10~15:30 岩動志乃夫*（東北学院大学）・大矢昂汰（盛岡タイムス）：岩手県におけるクラフトビール製造企業の立地特性。

《休憩》 15:30~15:40

《口頭発表Ⅲ》 15:40~17:00

A7 15:40~16:00 助重雄久（富山国際大）：離島・本土間を結ぶジェットフォイルの老朽化とその影響。

A8 16:00~16:20 鈴木厚志*（立正大）・崎浜 靖（沖縄国際大）：ウイラープラン期の宮古島マラリア防遏機構と防遏作業 -防遏所勤務者の記録による-。

A9 16:20~16:40 永野征男（日本大）：「鎌倉幕府跡」開発計画に対する地理学的見解。

A10 16:40~17:00 本多一貴*（立正大・院）・張 思遠（立正大・院修）・佐藤颯哉（立正大・院）・小松陽介（立正大）：東京都青ヶ島村における住民の購買行動からみた島内外の結びつきの変容。

《閉会挨拶》

《地理写真展示》

※ 掲示時間は10:00~16:00、掲示場所は会場の掲示をご覧ください。

G1 伊藤大平（立正大・院）：阿武隈川における男滝の様子。

G2 佐藤颯哉（立正大・院）：首里城の復興のようす。

G3 本多一貴*（立正大・院）・張 思遠（立正大・院修）・佐藤颯哉（立正大・院）・小松陽介（立正大）：絶海の孤島・青ヶ島の「日常」。

※ 懇親会は、新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえ、今年度は実施いたしません。

※ 総会書面決議の結果は学会HPと学会ニュースにおいて報告予定です。